

令和元年度

風間浦村教育委員会の事務の
点検及び評価に関する報告書

—平成30年度の実績—

風間浦村教育委員会

目 次

I	風間浦村教育施策の方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
III	事務の管理及び執行状況の点検及び評価にあたって・・・・・・・・	3

点検・評価事業一覧

○学校教育の充実にかかる施策対象（事務）事業〈主要施策個票〉

【教育課教育グループ学校教育担当】

1	学事研修会・・・・・・・・・・・・・・・・	8
2	同志社大学留学生交流事業・・・・・・・・	9
3	同志社中学校体験入学事業・・・・・・・・	10
4	スクールサポーター配置事業・・・・・・・・	11
5	スクールカウンセラー配置・派遣事業・・・・・・・・	12
6	教育支援委員会・・・・・・・・	13
7	外国語指導助手（ALT）派遣事業・・・・・・・・	14
8	スクールバス配置事業・・・・・・・・	15
9	学校教材の整備・・・・・・・・	16
10	学校施設の整備及び点検等・・・・・・・・	17
11	教員住宅の整備・・・・・・・・	18
12	奨学金貸付・・・・・・・・	19
13	学校保健・・・・・・・・	20
14	ICT環境の整備・・・・・・・・	21

○生涯学習事業の充実にかかる施策対象（事務）事業〈主要施策個票〉

【教育課教育グループ生涯学習担当】

1	風間浦・椴法華子ども交流会・・・・・・・・	22
2	青少年健全育成・・・・・・・・	23
3	放課後子ども教室・・・・・・・・	24
4	成人式・・・・・・・・	25
5	婦人会活動への協力・支援・・・・・・・・	26
6	文化財保護・・・・・・・・	27
7	体育協会・スポーツ少年団への協力・支援・・・・・・・・	28
8	青森県民駅伝競走大会・・・・・・・・	29
9	子ども学習塾事業・・・・・・・・	30

I 風間浦村教育施策の方針

風間浦村教育委員会では、学ぶことを通し、郷土に誇りと愛着を持って、未来を切り拓き、心豊かで夢や希望を抱いてたくましく生きる人づくりを目指します。

このため、

- ・歴史、伝統、文化を尊重し、知・徳・体の調和を育む学校教育
- ・学びを生かし、つながりをつくり出す社会教育の推進
- ・次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用
- ・活力、健康、感動を生み出すスポーツ

を、家庭、保育所、学校、地域との連携を深めて推進します。

Ⅱ 教育委員会の活動状況

定例会	期日	案 件
第1回	4月18日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・風間浦村文化財保護審議会委員の委嘱について ・風間浦村スポーツ推進委員の委嘱について ・平成30年度任用臨時職員について ・平成30年度教育委員会事務局事務分担について
第2回	5月24日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月教育費関係補正予算(案)について ・学校訪問について
第3回	6月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・管内小・中学校の閉庁日について ・視察研修について
第4回	7月24日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・諸報告について
第5回	8月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度9月教育費関係補正予算(案)について
第6回	9月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・風間浦村教育委員会規則の改正について
第7回	10月1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・風間浦村教育委員会教育長職務代理者の選任について ・風間浦村教育委員会事務委任規則の改正について
第8回	11月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度12月教育費関係補正予算(案)について
第9回	12月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・風間浦村ICT研修会視察について
第10回	1月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観について
第11回	2月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度教育費関係当初予算(案)について ・平成30年度風間浦村教育委員会表彰について ・青森県下北地方視聴覚教育協議会の廃止について ・むつ市と風間浦村との間の視聴覚教材購入事務委託の廃止について ・教職員(管理職)の人事異動について ・職員の退職について
第12回	3月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育費関係補正予算(案)について ・平成31年度就学援助申請の認定について ・中学校部活動指針について ・スクールサポーター及び放課後子ども教室活動推進員の任用について

Ⅲ 事務の管理及び執行状況の点検及び評価にあたって

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

風間浦村教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び村民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2 点検・評価の方法

(1) 点検評価の対象

令和元年度の点検・評価にあたっては、平成30年度に実施した風間浦村教育委員会教育施策の方針に基づく重点項目を推進するための具体的な主要施策を対象としました。

(2) 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、風間浦村まち・ひと・しごと創生総合戦略で実施している政策点検の手法を活用し、より効果的な企画立案や事業の実施につなげることができるよう点検・評価を行いました。

3 報告書の構成

報告書は、学校教育の充実にかかる施策対象（事務）事業と生涯学習の充実にかかる施策対象（事務）事業の二つの分野で構成しています。

重点項目を推進するための具体的な主要施策について、「施策の概要」、「計画・実績」「点検・評価」に分けて記載しています。

4 学識経験者の知見の活用

教育委員会が実施した点検・評価に対し、外部の視点から検証を行うことを目的として学識経験者である「点検・評価アドバイザー」からご意見をいただきました。

5 点検・評価アドバイザー

教育委員会は、教育に関する学識経験を有する者として、次の方を令和元年度「点検・評価アドバイザー」として委嘱しています。

氏 名	学 識 経 験 等
佐 賀 英 樹	元風間浦村教育委員会事務局教育課長

6 協議等の状況

【第1回】

令和元年12月27日（金）アドバイザーの佐賀英樹氏に対して、平成30年度実績に基づく教育委員会の事務の点検及び評価を実施した主要施策（個票）について、説明会に先駆けて資料の事前配布を行いました。

【第2回】

令和2年1月27日（月）風間浦村教育委員会において、アドバイザーの佐賀英樹氏に対して、平成30年度実績に基づく教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策（個票）について、事業の様子がわかる写真や統計資料等を添えて説明を行いました。

【第3回】

令和2年2月5日（水）アドバイザーの佐賀英樹氏より、教育委員会の事務の点検及び評価に対する報告書の検証結果（意見書）を提出していただきました。

7 事務の点検・評価アドバイザーの検証結果（意見書）

令和2年1月27日（月）に風間浦村中央公民館図書室において、越膳教育長はじめ、教育課長、担当課職員から、平成30年度における学校教育の充実にかかる施策対象（事務）事業、生涯学習事業の充実にかかる施策対象（事務）事業等について、文書資料、写真・統計資料をもとに取り組みの状況と成果及び今後の課題について説明を受けました。

この後、風間浦村教育施策の方針に添って、家庭・保育所・学校・地域との連携を深めるための施策の展開やこれまでの風間浦の教育課題解決に向けての方策や取り組みの状況を知ることができました。と同時に、職務の遂行に当たって全職員が献身的な取り組みと対応を行っていることを知ることができました。

そして、風間浦村教育委員会が I C T 環境の整備や子ども学習塾事業等様々な先進的且つ創造的な事業を展開しており、風間浦村教育委員会の教育への思いと改革への意識の高さを改めて感じました。

以下、風間浦村教育委員会の事務の点検及び評価を行った各事業等の中で、特色ある事業として取り組まれております事業について、感じたことを何点か記してみたいと思います。

☆同志社中学校体験入学事業について

同志社大学創業者 新島 襄 氏が快風丸で江戸から函館へ向けての航海中に、本村下風呂に寄港した縁で、同志社大学留学生交流事業や同志社中学校体験入学事業等の交流が行われております。長年にわたって築き上げられてきた風間浦中学校との生徒間交流は、生徒同士が交流を通して互いに刺激し合い、互いの良さを感得し、互いの意識を高め合う機会となり、学びに対する意識改革に繋がるものと思われまます。

また、今年度は社会・数学・英語の合同授業に参加したり、ロボットについての特別授業を受けるなど、なかなか体験できないような経験をされたことは、生徒の皆さんが成長される過程においても貴重な財産となったのではないのでしょうか。

これからも活動内容を創意工夫されて、同志社中学校との交流が長く続くことを願うとともに、さらなる発展を期待したいと思います。

☆学校 I C T 環境の整備について

平成 3 0 年度から、文部科学省による学校における I C T 環境整備事業が推進され、自治体における計画的な I C T 環境の整備促進を図ることとなっておりますが、風間浦村では他市町村に先駆け、既に学校の I C T 環境が整備され、同志社中学校の反田特任教諭を講師に招き研修会を開催するなど、I C T 教育を高めるための環境の整備が図られております。

現在、タブレット端末が児童生徒、教員一人ひとりに貸与され、教師と児童生徒の相互の画面配信交流を通しての学習指導やタブレット端末を使って必要情報を収集して「家庭学習・調べ学習」などの多様な学習活動に生かして、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて取り組まれ続けていることは、子ども達の学習意欲の喚起や探求的な学習習慣を形成し、風間浦村の児童生徒の学力の向上に繋がるものと思われまます。

☆子ども学習塾事業について

小学校の全児童を対象にタブレット等ICT機器を用いて遠隔教育を行い、学力の向上を図るといふ子ども学習塾の開講は、都会の子ども達と同じような環境下で、自分達の住む地域で学習に励むことができる環境が整ったことにより子ども達の学習意欲と学力の向上に繋がるものと思います。

このような先駆的な取り組みにより、より多くの児童が学習塾に参加し、学習意欲の向上を図るためにも、これまでの取り組みの検証を行い、子ども達の学力向上の一助となるような事業の継続と展開が望まれると思います。

☆スクールサポーター配置、スクールカウンセラー配置・派遣事業について

支援が必要な児童生徒に対する学習支援等を行うためのスクールサポーターの配置や不登校などの児童生徒の心の問題に対応するための支援策としてのスクールカウンセラーの配置は、児童生徒一人ひとりの人権尊重の教育の充実を図るために、重要な役割を果たしているものと思います。

教師や児童生徒同士での人権が損なわれる事態を未然に防ぐためにも、人権尊重についての意識を高めるためにも、教員を中心として保護者を巻き込んで、きめ細かな心の教育を推進するためにも、スクールカウンセラー並びにスクールサポーターの継続した配置が望まれるものと思います。

☆小中連携について

小中連携については、小中それぞれに連携に対する生徒指導上や学習指導上の捉え方や感じ方を共有するために、教職員交流を含めた学習指導法や生徒指導法の交換、連携に係る教育課程の情報提供などの必要性が前年度の意見書に述べられているように、今後においても、児童生徒間交流事業の展開に努め、より一層の小中連携に向けた取り組みが望まれるものと思います。

また、中高連携の取り組みは地域に高校が存続するためにも望まれるものであり、中高連携を推進するために、中学校・高校による相互授業参観や授業交流、教員の交流を深めるための研修会を行うなど、様々な交流を通して自分たちの地域の価値を再発見するためにも、中高連携のあり方を探っていくことも大切であると思います。

以上、「点検・評価アドバイザー」としての拙い意見を述べさせていただきましたが、点検・評価事業の個々の項目事業のほとんどは、施策で効果的であると言えます。

また、今後の課題については、継続して課題を達成するために「確かな評価」と「創意ある改善」を目指して、これからも教育委員会の運営に謹んでいただきますことを期待しています。

最後になりましたが、風間浦村教育委員会の皆様方の益々のご活躍を御記念申し上げ意見書といたします。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

1 学事研修会

主要施策課	教育課 教育グループ学校教育担当
-------	------------------

1 施策の概要

管内全教職員及び村関係者が一堂に会し融和と協調のもとに、総合的な教育水準の向上について研鑽を図り、本村の教育の充実・発展を期することを目的としている。

2 計画・実績

○計画

- ・総合的な教育水準の向上及び発展を図るために研修会を開催する
- ・研修会終了後、親睦を深め情報の共有がスムーズに行われるよう交流会を実施する

○実績

- ・期 日 平成30年4月26日（木）午後3時～
- ・場 所 研修会：風間浦中学校 多目的ホール 交流会：中央公民館
- ・内 容 演題 「青森で学ぶ外国人が日本人に期待すること」
講師 青森中央学院大学経営法学部 田中 真寿美 氏
- ・参加者 64名
- ・決算額 263千円

3 点検・評価

評 価	<p>講演の内容は、世界の日本語学習者の割合がアジアが多いことや、学院大学留学生の声を紹介しながら、日本人が外国人に対する接し方について講話をした。</p> <p>全教員と村関係者等が接することが少ないため、交流としては良いことである。また、県内でも開催している市町村は少なく、83回目となり伝統的な行事である。</p>
改善事項 (課題)	<p>研修内容は、教育現場や社会的状況などを踏まえ、幅広い分野から選択し、教職員及び村関係者の研修意欲などを喚起する必要がある。</p> <p>なるべく早い段階で、実施内容を検討していくようにしたいと思う。</p>

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

3 同志社中学校体験入学事業

主要施策課 | 教育課 | 教育グループ学校教育担当

1 施策の概要

同志社大学創立者新島襄氏が、激動の明治維新前夜、快風丸で江戸から函館に航海中、本村下風呂に寄港された縁で、風間浦中学校2年生全員及び同志社生徒会が来村して、交流を通じ見聞を広め、集団行動のルールや協力、助け合いなどの大切さを体得することをねらいとしている。

2 計画・実績

○計画

- ・風間浦中学校2年生全員が、同志社中学校へ行き生徒達と交流を行う

○実績

- ・期 日 平成30年10月30日～平成30年11月2日（3泊4日）
- ・場 所 同志社大学京田辺・今出川・岩倉キャンパス等
- ・参加者 風間浦中学校2年生全員（7人）引率者（3人）
- ・交流内容 同志社大学（京田辺・今出川）のキャンパス見学及び岩倉校舎で特別授業及びよさこいソーランを全生徒の前で披露し交流を図った
また、体験学習として座禅、がま口制作を行った

※同志社中学校生徒会が平成31年1月24日～平成31年1月27日に風間浦村に来村し、中学校と交流及び村口木工所で体験等を行った

- ・決算額 500千円

3 点検・評価

評 価	<p>平成5年3月2日に同志社中学校を訪れてから、中学校交流は27回目を迎えた。</p> <p>昨年度、実施できなかったが、合同授業として社会・数学・英語に参加し、生徒は真剣に取り組んでいた。同志社中学校のチャペルで堂々と「よさこいソーラン」と合唱を披露できたことは、生徒たちの自信となり、将来に役立つ貴重な体験となった。</p> <p>なお、昨年に引き続き、体験学習として大徳寺塔頭の大仙院での座禅、榑秀和（社長同志社OB奥敏郎氏）でのがま口製作実習を行った。また、同志社大学のご配慮により生命科学研究室にて、ロボットについての特別授業を受け、とても良い体験ができた。</p>
改善事項 (課題)	<p>来年度も引き続き、中学校の通常授業に参加を要望して合同授業を体験させてあげたい。</p>

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

5 スクールカウンセラー配置・派遣事業

主要施策課 | 教育課 | 教育グループ学校教育担当

1 施策の概要

不登校や問題行動など児童生徒の心の問題に対応するための支援策として、臨床心理における高度で専門的な知識及び経験を有する者等をスクールカウンセラーとして配置し、児童生徒に対するカウンセリングや教職員、保護者に対する助言、補助等にあたり、その結果について関係者による分析協議や情報交換を行う。

2 計画・実績

○計画

- ・スクールカウンセラーを風間浦小中学校に配置する

○実績

- ・児童生徒とその保護者へのカウンセリングを実施して、問題解決への適切な助言などを行った
- ・決算額 577千円（述べ14回）

3 点検・評価

評価	児童生徒とその保護者へのカウンセリングを月1回～2回程度実施して、問題解決への適切な助言やアドバイスを頂き心のケアがされた。
改善事項 (課題)	児童生徒とその保護者への適切な助言などの心のケアが必要とされているため、継続することが重要である。 スクールカウンセラーは村外から来校しているため、急遽、対応することはできない。しかし、カウンセラーが県内でも少ないため、継続して配置していきたい。 不登校生徒（中学校1名）の対策を、継続して対応していく必要がある。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

7 外国語指導助手（ALT）派遣事業

主要施策課 | 教育課 | 教育グループ学校教育担当

1 施策の概要

語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）を活用して、語学指導等を行う外国青年を当村に招致することにより、当村における外国語教育の充実や、ALTとの触れ合いで、国際交流の発展を図るものである。

2 計画・実績

○計画

- ・外国語教育の充実を図るため、外国青年招致事業を活用し、語学指導を行う外国青年を招致する

○実績

- ・外国語指導助手（ALT）が配置計画のとおり7月まで配置されている（継続5年目）
- ・8月からは新外国語指導助手（ALT）が来村し、配置されている
- ・外国語指導助手（ALT）の勤務日数及び配置先
風間浦中学校年間勤務日数 104日 風間浦小学校年間勤務日数 90日
教育委員会年間勤務日数 34日（研修等を含む）
- ・決算額 3,951千円

3 点検・評価

評価	村の英語教育推進事業として、JETプログラムによるALTが風間浦中学校を拠点として、中学校生徒や小学校児童に英語の指導を行い、英語力の向上が図られた。また、小学校統合により小学生と勉強する時間が増えた。ALTと児童生徒とのふれあう機会や環境を整えたことで、英語スピーチの向上と国際交流に対する理解が図られた。
改善事項 (課題)	小中学校での活用の外、一般住民を対象とした英会話教室の開催や英語を交えた出身の料理教室も検討していく。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

8 スクールバス配置事業

主要施策課 | 教育課 | 教育グループ学校教育担当

1 施策の概要

スクールバスを運行し、児童生徒の安心・安全な通学を確保する。

2 計画・実績

○計画

◇各小中学校の通学及び校外授業の運行を行う

○実績

◇下北交通（2台）へ運行管理を業務委託

・登校時、下校時（1～2回）運行

・運行日数・・・230日

・委託料・・・20,373千円

◇村スクールバス（1台）の運転手を村で採用し運行

・登校時、下校時（2回）運行

・運行日数・・・280日

・賃金、燃料代・・・2,512千円

3 点検・評価

評価	各小中に通学する児童生徒を、ほぼ計画どおり、登下校安全に運行することができた。 また、村のスクールバスを1台配置することにより、緊急的な運行及び校外授業等の際にも円滑な対応ができた。
改善事項 (課題)	スクールバスを運行する際の課題は、業務委託費の確保と運行計画の充実であり、多様化する学校行事に対応したスクールバス運行のきめ細やかな調整が必要である。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

10 学校施設の整備及び点検等

主要施策課 教育課 教育グループ学校教育担当

1 施策の概要

安全面、保健衛生面において、指導上その他の学校教育の場として適切な環境を確保することになっていることから、計画的に学校施設の整備を行う。

2 計画・実績

項目	○計画	○実績
・風間浦中学校揚水ポンプ改修工事請負費	480,000円	479,520円
・風間浦中学校柱養生設置工事請負費	616,000円	615,600円
・風間浦中学校キュービクル・受水槽屋根補修工事請負費	454,000円	453,600円

3 点検・評価

評価	計画された改修工事については、実施し、改善された。
改善事項 (課題)	中学校校舎については、築30年を経過したため、要改善箇所が何箇所も見られるため、優先順位をつけ予算を確保し改修する必要がある。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

12 奨学金貸付

主要施策課 教育課 教育グループ学校教育担当

1 施策の概要

風間浦村に居住する者の子弟で、高等学校並びに同等以上の学校に在学する者に対し、奨学資金を貸与し修学の便宜を図り、教育の振興に寄与するとともに、有用な人材を育成することを目的として事業を行う。

2 計画・実績

○計画

- ・修学が困難な者に、勉学に必要な資金の一部を貸付けることにより、修学期間における経済的な負担の軽減を図る。

○実績

- ・貸与額 9,980,000円

- ・貸与額の内訳

大学・専門学校等	12名	7,200千円
高校（自宅外通学）	6名	1,380千円
高校（自宅通学）	4名	1,400千円
合計	22名	9,980千円

3 点検・評価

評価	修学のための経済的支援を行うことで、学生を持つ家庭における経済的な負担の軽減が図られた。
改善事項 (課題)	奨学資金の返還については、奨学生本人並びに連帯保証人に対して確実に返還して頂くよう指導し、理解して貰う必要がある。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

14 ICT環境の整備

主要施策課 教育課 教育グループ学校教育担当

1 施策の概要

学校におけるICT環境整備事業（文部科学省）により、平成30年度から自治体における計画的なICT環境の整備が推進されたため、学習活動を可能としていくようなICT環境の実現を図る。また、タブレットを活用したICT教育の状況に応じた支援ができるよう、教職員の指導力の向上を目指す。

2 計画・実績

○計画

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、学校のICT環境を整備する
- ・ICT教育を実施するための研修等を行う
- ・同志社中学校反田任教諭の協力のもと、小中学校のICT教育を高める

○実績

- ・児童生徒用タブレット（機種：iPad）小学校45台、中学校40台
※中学校生徒は家庭への持ち帰りをさせている。
- ・教師用タブレット（機種：iPad）小学校4台、中学校6台
- ・英会話ロボット（Musio）小学校1台、中学校1台
- ・Wi-Fi環境の整備
- ・研修会等
8 / 9 プログラミング講座（小中学生希望者）34名
8 / 10 第1回ICT研修会（管内小中学校教職員ほか）28名
12 / 26 第2回ICT研修会（管内小中学校教職員ほか）35名

3 点検・評価

評価	ICT教育を実施するための環境の整備ができた。 同志社中学校の反田任教諭を講師にむかえ、研修会等を実施することで、教職員の指導力の向上が見られた。
改善事項 (課題)	今後も研修会等を実施し、教職員及び児童生徒のICT教育の支援を実施していきたい。

教育委員会の事務の点検・評価における主要施策個票

1 風間浦・楳法華子ども交流会

主要施策課 教育課 教育グループ生涯学習担当

1 施策の概要

一泊二日の団体生活、体験活動を通し、友情を深め、協力する気持ちを養い、互いの地域の特色を知ることがを目的とする。

2 計画・実績

○計画

- ・団体生活の中で、心身の成長と友情を深めることができる交流会を行う。

○実績

- ・期 日 平成30年8月7日（火）～8日（水）
- ・場 所 風間浦村内
- ・参加者 風間浦17名、楳法華17名（小学校4～6年）
- ・内 容 村口産業での木工体験、下風呂公民館での交流、自然の家に宿泊し、親交を深めた。
- ・決算額 140千円

3 点検・評価

評 価	縦割り班で活動することで班での活動の経験を得ることができた。また、他の地域の子ともと交流することで、良い刺激を受けることができ良い体験となった。
改善事項 (課題)	次年度は、函館市で交流する予定となっているので、楽しみながら学校活動だけでは得ることのできない体験を行えるよう努めたい。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

2 青少年健全育成

主要施策課 教育課 教育グループ生涯学習担当

1 施策の概要

次代を担う青少年が心身ともに健やかに、たくましく成長できるよう育んでいける体制づくりを青森県が委嘱している青少年健全育成推進員とともに行う。

2 計画・実績

○計画

- ・青少年健全育成推進員研修会に参加する。
- ・学校の通学時間に合わせて声がけ運動（朝の挨拶）を行う。

○実績

- ・青少年健全育成推進員研修会等に参加した。
- ・声がけ運動を行った。

3 点検・評価

評価	研修会に参加して他市町村との意見交換ができた。また、推進員による声がけ運動を積極的に行った。
改善事項 (課題)	青少年の成長を手助けできる情報共有をし積極的に努めていく。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

3 放課後子ども教室

主要施策課 教育課 教育グループ生涯学習担当

1 施策の概要

放課後に子どもたちが安全、安心な居場所の確保をし、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を行う。

2 計画・実績

○計画

- ・放課後、学校の空き教室に教育活動推進員を配置し、子どもたちが宿題をしたり、一緒に遊ぶことができる居場所を設置する。

○実績

- ・期 日 4月～3月（開催日数 193日）
- ・場 所 風間浦小学校内
- ・参加者 主に小学1～3年生（31名）
- ・内 容 宿題、室内遊び、野外遊び
- ・経 費 1,463千円

3 点検・評価

評 価	平日及び長期休業中の放課後に、子どもたちが安全・安心に活動できる居場所を確保することができた。今年度は、長期休業中に午前と午後開催できたため、受け入れ態勢をさらに充実させることができた。
改善事項 (課題)	評価に記載している通り長期休業中に午前と午後開催したため、来年度も継続して開催できるよう努める。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

4 成人式

主要施策課 教育課 教育グループ生涯学習担当

1 施策の概要

成人を祝し、成人たる自覚を喚起させる行事として開催する。

2 計画・実績

○計画

- ・今年度20歳を迎える新成人を一堂に会し、式典及び懇親会を開催する。

○実績

- ・期 日 平成30年8月14日(火)
- ・場 所 風間浦中学校 体育館
- ・成人参加者 12名(対象者17名)
- ・内 容 成人紹介、二十歳の誓い、謝辞、記念撮影、
中学校時代の思い出スライドショー上映
- ・経 費 65千円

3 点検・評価

評 価	式典時、来賓に新成人として紹介されることにより、大人としての自覚を持つ場を作ることができた。 また今年度は、講演に代わり、中学校時代の思い出をスライドショー形式で上映した。
改善事項 (課題)	今年度初の試みとしてスライドショーを上映した。新成人の反応も良かったと思われる。また、式典の他にスライドショーというプログラムを用意することで、成人としての見識を深めることができるため、来年度以降も継続できれば良いと思われる。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

5 婦人会活動への協力・支援

主要施策課

教育課 教育グループ生涯学習担当

1 施策の概要

婦人の地位向上と福祉増進及び地域のための活動を行う婦人会への協力・支援を行う。

2 計画・実績

○計画

- ・各種研修会開催及び参加への協力を行う。
- ・村会員研修会を開催する。

○実績

- ・県地域婦人団体連合会研修会開催への協力。
- ・県内で開催される婦人団体の研修会等への送迎を行った。
- ・村会員研修会として、蓬田村婦人会と交流。今年度は風間浦村で開催した。
- ・補助額 153千円

3 点検・評価

評価	県内に開催される研修や会議に参加することで、知識を深めることができた。 また、蓬田村婦人会との交流や、研修に参加することで他町村婦人会と交流することができた。
改善事項 (課題)	県や、下北地域で開催される連合婦人会の研修会にできるだけ多くの会員が参加できるように送迎などに協力する支援体制を作っていく。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

6 文化財保護

主要施策課 | 教育課 | 教育グループ生涯学習担当

1 施策の概要

村内各地区に伝承されている郷土芸能の保存・伝承、文化財包蔵地のパトロール等及び文化財保護活動を推進する。

2 計画・実績

○計画

- ・文化財保護審議会の各種研修参加及び研究発表を行う。
- ・文化財包蔵地パトロールを実施する。
- ・村文化財指定有形文化財大石神社奉納絵馬の修繕を行う。

○実績

- ・下北地方文化財審議委員連絡協議会後期研修会に出席し見識を広めた。
- ・村内文化財包蔵地のパトロールを行った。(下風呂地区、桑畑地区)
- ・村指定有形文化財大石神社奉納絵馬「蝦夷地地引網作図」の修繕を行った。
- ・決算額 1, 394千円

3 点検・評価

評価	大石神社奉納絵馬「蝦夷地地引網作図」を修繕し、これから保存していく。
改善事項 (課題)	修繕した絵馬のこれからの活用について検討していく必要がある。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

7 体育協会・スポーツ少年団への協力・支援

主要施策課

教育課 教育グループ生涯学習担当

1 施策の概要

スポーツの振興、競技力の向上を目的とする体育協会及びスポーツ少年団への協力・支援を行う。

2 計画・実績

○計画

- ・県民体育大会に参加する。
- ・スポーツ少年団が大会へ参加する際の輸送費の補助を行う。

○実績

- ・県民体育大会へは、女子バレーボール6名参加。
決算額 206千円
- ・スポーツ少年団が各種大会に参加する際、輸送費の補助を行った。
決算額 135千円
- ・体育協会への補助額 362千円

3 点検・評価

評 価	<p>県民体育大会に団体競技が出場に向けて練習をすることにより、スポーツ振興向上が図られた。</p> <p>また、スポーツ少年団の活動へ助成することでも、スポーツ振興が図られた。</p>
改善事項 (課題)	<p>現在、体育協会の所属している競技団体で、活動が行われている団体が、一部しかないため、休止中の団体も活動を再開できるように情報提供をに務めるなど働きかけたい。</p>

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

8 青森県民駅伝競走大会

主要施策課	教育課 教育グループ生涯学習担当
-------	------------------

1 施策の概要

県民の一体感を盛り上げ活力ある県勢の発展及びスポーツ振興を図ることを目的とした駅伝競走大会に村民をあげて参加する。

2 計画・実績

○計画

- ・大会に参加できるように選手の選考に努める。

○実績

- ・選手 14名派遣
- ・総合40位
- ・村の部8位
- ・決算額 440千円

3 点検・評価

評 価	風間浦村チームとして団結して、一人も途中棄権することなく、完走することができた。
改善事項 (課題)	選手の確保が困難となっているため、確保する手段を模索し、棄権することなく大会へ出場をする。また、来年度は青森県新陸上競技場がオープンすることで、コースの変更が計画されているため、更に厳しい状況となることが予想されるので対応策を検討したい。

教育委員会の事務の点検及び評価における主要施策個票

9 子ども学習塾事業

主要施策課 教育課 教育グループ生涯学習担当

1 施策の概要

タブレット等ICT機器を用い遠隔教育を行い、学力向上を図る。

2 計画・実績

○計画

・小学校の全校児童を対象に遠隔教育を実施し、ICT機器に触れながら学習を向上させる。

○実績

- ・4月から3月まで30回開催。月2回学習塾の開催を行い、各開催ごとに1学年ずつ行った。
- ・参加希望を募り、年間延べ311名参加。
- ・決算額 3,861千円

3 点検・評価

評価	対象を全校児童へ広めたことで、まんべんなくICT機器に触れる機会を作ることができ、学習意欲の向上に繋がった。
改善事項 (課題)	塾参加を希望者としたことで、希望しない児童もいたため、より多くの児童から参加希望がでるように考えたい。